

プロローグ ～教会(聖堂)～

あら…？

こんばんは。

こんな夜更けに教会に来られる方がいるなんて、少し驚いてしまいました。

旅の途中で…？

では、色々な場所を訪れているんですね。

私はずっとここで生まれ育ったので、街の外には出た事がなくて。

少し羨ましいです。

はい。

幼い頃からシスター見習いをしているので。

貴方様が旅をされていらっしゃるというのは…？

まあ…

勇者様なのですね。

この様な小さな教会にお立ち寄り頂き、光栄です。

有難う御座います。

え？

子供の頃は、この街に…？

そうだったんですね。

では、久しぶりに帰郷されたのでしょうか。

この街の出の方が、勇者様になられているだなんて、

とても誇らしい気持ちです。

教会にいらしたのは、何か理由が…？

幼い頃によく訪れて…？

では、勇者様にとってここは懐かしい場所なのですね。

名乗り遅れました。

私(わたくし)はここでシスターをしております。

改めて、本日は教会に足を運んでいただき、光栄に思います。

勇者様さえ宜しければ、どうぞこちらへ。

私室にご案内させていただきます。

はい。

この教会では、勇者様が来訪された際には、

シスターは精神誠意のおもてなしを行うよう、言いつけられております。

ですので、遠慮などは不要です。

あ、でも…もし勇者様が気乗りされない様であれば…

良かった。

では、どうぞ。

こちらへ。

トラック1 ～教会 ヒロイン私室～

簡素な部屋で申し訳ありません。

どうぞ、ベッドにお座りになってください。

勇者様。

私(わたくし)達シスターには、聖女の務めがあります。

どうぞ今宵は遠慮なく、私に欲を吐き出していってくださいね。

耳元でこうしてお話しても、嫌ではありませんか…？

ふふ、良かったです。

失礼します…

やっぱり、勇者様の体はとても男性らしいですね…

服の上から撫でていても、逞しさが伝わってきます。

少し体が火照ってきたでしょうか…？

心なしか、耳も紅くなっている気がします。

どうぞ、勇者様のしたい事、私(わたくし)にしてほしい事があればお教えてください。

それにお応えするのが、私(わたくし)の喜びなので。

はい、勿論です。

では…苦しそうにズボンを押し上げているここ…

解放してしまいますね。

少し…腰を上げてください。

まあ…♡

反り返って、血管が浮き出ています…

興奮して貰えているみたいで嬉しいです。

手でしこしこしながら、耳も刺激していきますね。

耳元で囁かれると、ぞくぞくします…？

おちんちんがびくびく跳ねて、カウパーが溢れだしてます…

これ、全体に塗り広げて扱きやすくしますね。

ん…

先っぽ掌で撫でられるの好きですか…？

ぬるぬるになってきました。

ちゅっ…

れろお…れえろれえろ

ぢゅっぢゅるっちゅっちゅる

沢山気持ちよくなってくださいね…♡

ぢゅっぢゅるっれろれろれろ…

ちゅぱっちゅうっぢゅるるっ

はぁ…んう…

れえろれえろれえろ…

ぢゅるぢゅるっちゅうっちゅぱっ

ちゅっちゅうっちゅっぢゅぶっ

おちんちん、硬くて熱い♡

耳でも、もっともっと感じて貰いたいです♡

ちゅうちゅぱっちゅるっぢゅっ

れろお…

ぢゅぶるっちゅぱっちゅっちゅう

れえろれろれろれろ…

ぢゅぱっぢゅるっぢゅっちゅっ

ぢゅるっぢゅるるるっぢゅるう…

シスターとして、勇者様にお仕え出来て幸せです。

この街に滞在されている間は、私(わたくし)に全ての欲を吐き出してください♡

ちゅっちゅっぢゅるっぢゅぶっ

ちゅっちゅうれろれろれろ…

ぢゅっちゅぶっちゅるっちゅう

ぢゅるっぢゅっぢゅぶっぢゅるる

手の中で、また少しずつ膨らんでいってます♡

ちゅっちゅぱっ…

舌、入れますね。

ぐるぐる耳奥で動かして、水音…たっぷり鼓膜に響かせます♡

ちゅっちゅるっちゅぱっ

ぐるぐるぐるぐる…

ちゅっちゅっちゅるっ

ちゅっちゅぐるぐるぐる…

どうですか…？

耳奥まで舌の感触感じますか…？

ちゅぱっちゅるっちゅっ…

勇者様の興奮が、私にまで伝わってくるようです…♡

体の奥が火照ってきている気がします…♡

んちゅっちゅるっちゅぱっ

ちゅるっぐるぐるぐるぐる…

れろお…ぐるぐるぐるぐる…ちゅっちゅぱっちゅるっ

ちゅぱっちゅるっぐるぐるぐる…ちゅるるっちゅっちゅっ

はあ…っ

勇者様…？

反対のお耳も、沢山刺激させてください♡

ふいふい。

触ってない間も、おちんちんが震えてましたね♡

少し、速くしましょうか。

ん…っ

れろお…

れえろ…れろれろれろ…

ちゅっ…

まだ、戸惑っていらっしやいますか…？

ちゅっれろお…

無理ありません…

ですが、これはこの教会の習わし…♡

れえろ…れろれろお…

んはあ…

いつも、冒険や戦闘で疲れている勇者様が…

んちゅっちゅるっちゅば…

少しでも癒される様に…

んれろお…

ひと時の安らぎを、差し上げたいのです♡

ちゅばっちゅっちゅるっれえろれえろ…ちゅるっ

それに貴方様は、この街から輩出された勇者様…

そんな立派なお方に、こうしてお仕えさせていただくのは、

当然の事だと思うのです♡

んちゅっちゅぱつれろお、れえろれえろれるう…

戸惑いや遠慮など不要です。

私はこうして、勇者様に性のご奉仕を出来る事を、幸せに感じます♡

さあ…

快感に集中しましょう…？

ちゅっちゅるっぐるぐるぐるぐる…

ちゅぱつれえろれえろれえろ…

ちゅぱっちゅうつれるれるれる…

れえろ…ぐるぐるぐるぐる…

こうして首元近くで勇者様の匂いを嗅いでいると…

ちゅつれろお…

どこか懐かしい気持ちになります…

れろお…

はあ…

何故か知っている匂いの様な気がして…

ちゅっ…れえろれえろ…

ちゅっちゅぱっぐるぐるぐるぐる…れえろれえろ…

ちゅるるっちゅるちゅるちゅるちゅるっ

れろお…れえろれろお…れろれろれろ…

はあ…っ

すうー…

はあ…

勇者様の香り、とても好きです…♡

汗の匂いと、男性らしい匂いが混ざりあって…とっても厭らしい…♡

ちゅぱっちゅるっちゅるちゅるちゅる…

腰、動いてきましたね♡

そうです…今はそのまま、快楽に身を委ねていきましょう…？

ぢゅるっぢゅるるるる…

ちゅぱっちゅっぐるぐるぐるぐる…ぢゅぶるっ

んふうー…

ぢゅれろっれえろれえろれえろ…

ぐるぐるぐるぐる…

ぢゅるぢゅるぢゅるぢゅるるるっ

れろお…ぐるぐるぐるぐる…

ぢゅぶるるるるっ

先っぽが凄く硬くなりました。

そろそろ限界ですか…？

れろおー…♡

気持ちよさそうなお顔をされていらっしゃいますね♡

どうぞ…♡

このまま、射精まで一気に上ってしまいましょう？

ぢゅれるっれろれろれろれろ…

ぢゅるるる…っ

ぢゅるぢゅるぢゅるぢゅる

れるれるれるれるう…

ぐるぐるぐるぐる…

はぁ…っ

んぢゅるるるるるっ

いつでも出していいんですよ…っ♡

んはぁ…っ

勇者様の精液、たぁ～っぱり出してください♡

んっ…

んれるう…れろれろれろれろお…

ぐるぐるぐるぐる…ぢゅっ

ぢゅるぢゅるぢゅるぢゅるっ

ぢゅるるるるるっ

出して♡

れえろれえろぢゅるう…

いっぱい出して♡

ぢゅれるっぢゅるっぢゅるぢゅううっ

あっ♡

ああ…♡

凄い…♡

こんなに沢山…♡

腰が何度も跳ねてます♡

私の手も、どろっどろになってしまいました…♡

でも…

出したばかりなのに、勇者様のおちんちんは、まだ勃起したまま…♡

一度だけでは満足されていないですね？

次は、勇者様がしたい事…お教えてください♡

ベッドの上で足を広げるのですか？

はい♡

少し恥ずかしいですが…♡

こう、でしょうか…？

勇者様の熱が移って、こんなになってしまいました…♡

おまんこの蒸れた匂い、恥ずかしいです…っ♡

厭らしい聖女で申し訳ありません…♡

勿論です♡

それで、勇者様にご満足なら…♡

私のおまんこ、好きに弄ってください…♡

んあ♡

指先が触れただけで、入口がひくついています…っ♡

あああっ♡

指、入ってきました…♡

ごつごつしていて、死線を潜り抜けてきた、男性らしい指…♡

おまんこの中、うねってしまいます…っ♡

あっ♡

んあっ、あっ、はあっ♡

かき混ぜる様な動き…っ

膣肉を確かめるみたいにい…っ

あっ、んう…っ

はあー…はあー…っ

あんっ♡

入口近くを擦っているだけなのに、気持ちよくなってしまいますっ…♡

私の乱れる姿が、勇者様のお仕えになるのですね…♡

あっ、はあっ♡

はい♡

片脚、自分で持ち上げておきます♡

ああああん♡

指の根本まで、おまんこで咥えてしまいました…っ♡

お腹のゾクゾク止まりませんっ…♡

あっ♡

んあっ、はあっ、あっ、あんっ♡

ぐちゅぐちゅと音が凄いです…っ♡

勇者様の指を汚してしまって…っ♡

あ…♡

ふい♡

私の痴態を見て、おちんちんの勃起…高めているんですね…っ♡

ご自身の手でしこしこして…っ♡

あんっ♡

ますます膨らんでいっているのが、見て分かります…っ♡

んあああっ♡

そこ、そこいけません…っ

お腹側っ♡

おまんこの上側、そんな擦ったら…っ♡

あっ、あんっ、んうっ♡

待ってください…っ♡

出て…っ

出てしまいます…っ♡

あっ、はあっ、んあっ、あっ♡

勇者様にい…っ♡

かかってしまいます…っ♡

私のはしたないお漏らしがあ…っ♡

んあああっ♡

本当にっ♡

我慢できなくなりますっ♡

んうううっ♡

あっ、んくっ、んあっ、あっ、うくっ♡

出していいなんて言われたらっ♡

キてしまいますっ♡

あっ、イクっ♡

イきますっ♡

あっあっあっあっあっ♡

んいつ♡

あっ、んうっ、あっあっあっ♡

んああああ～っ♡

あっ…♡

はあ…はあ…はあ…はあ…♡

沢山…出てしまいました…♡

潮吹き…♡

どうでしたか…？♡

興奮した…？

ふふ♡

最高の誉め言葉です…♡

はあ…はあ…

おまんこ、そんなに見詰められると、余計ひくつき止まりません…♡

まだ敏感で、腰も勝手に動いてしまって…♡

あッ♡

いきなり、クリそんな擦ってえ…っ♡

あつ、んあつ、あつあつあつあつあつ♡

ま…ツ♡

また、出ますツ♡

クリ敏感すぎますツ♡

“あつ、んあつ”あつ、あつあつあつんううう～ツ♡

勇者様も、おちんちん強く扱いて、イキそうなんですよね…ツ♡

い、一緒に…っ♡

一緒にイキましょう…ツ？♡

んうっ、んぐっ、あつ、“あつあつあつあつあつ♡

あつあつあつあ～～っ♡

出る出る出る出る出るツ♡

イツくううう～ツ♡

あああああーツ♡

あつ…♡

あん…っ♡

はあ…はあ…はあ…はあ…♡

勇者様も、またたつくさん出ましたね…♡

私も、ベッドがびしょびしょになるほど、出してしまいました…♡

勇者様は意外と意地悪なのですね♡

追撃でクリを虐められるとは思いませんでした…♡

はあ…♡

もし宜しければ、今宵はどうぞ、教会の客室をご利用ください♡

私のお漏らしでも汚れてしまいましたし…

この部屋の後処理はしておきます。

まずは…湯浴みでゆっくりされてくださいね♡

トラック2 ～ヒロイン私室～

勇者様、昨日はゆっくりお休みなれましたか？

ふいふ。

それは良かったです。

朝のミサが終わった後、今夜もお願いしたいと言っていただけで、

とても嬉しかったんですよ？

勇者様…？

今日はどうされますか？

勇者様さえ良ければ、お口でさせていただこうと思っていたのですが…♡

まさか。

嫌な訳がありません。

それに…

貴方様にはもっとお仕えしたいと…

昨日初めて会ったばかりだと言うのに、そんな気がしないのです…

不思議な感覚で…

勇者様であれば、誰でもこの様な感情になる訳ではないと思います。

申し訳御座いません。

勝手にこの様な感情を抱いてしまって…

ふう…

この話はここまでに致しましょうか。

他に、私にして欲しい事はありますか？

え…？

オナニーをしながら…啜えるのですか…？

あ…

昨日の私(わたくし)の潮吹きに興奮された、と…？

あの様なはしたない姿を見せてしまったと言うのに…♡

いえ♡

勇者様がその姿を見たいと仰るのなら、潮吹き出来る様に

自分で弄ってみます…♡

ん♡

ベッドに横になるのですね。

かしこまりました♡

ズボンとパンツ、脱いでいただけますか？

お口で啜えさせて下さい♡

はあ…♡

やっぱり勇者様のおちんちん…とっても立派で凶悪です…♡

すうー…

はあ…

蒸れた雄の臭い…♡

んあー…

勇者様…♡

どうぞこちらに挿れて下さい…♡

唾液でぬるぬるのお口まんこ…♡

たっぴりと堪能していただきたいです…♡

んんんっ♡

ぢゅるっぢゅれるっぢゅるっぢゅるう

勇者様のおちんちんおいひい…♡

ぢゅぶるっぢゅるっぢゅるるっぢゅれるっ

んんっ♡

ぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅるるっ

夢中になって、自分で弄るのを忘れてしまうところでした…♡

れろれろれろ…

私も下着を脱いでしまいますね♡

勿論、啜えながら…

ぢゅれるっぢゅるっぢゅぶっぢゅるっ

んっ♡ぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅう

んんっ♡

もう入口ぐちょぐちょです…♡

ぢゅるっぢゅるるっぢゅぼっぢゅれるっぢゅるっ

おまんこ指で弄ると、厭らしい音が勝手に鳴ってしまっ…っ

ぢゅれるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ぢゅるるるっぢゅぶるっぢゅるるっ

んふー…♡

ふうー…♡

ぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぶるるるっ

勇者様のおちんちんを咥えていると…っ

んぢゅるっ…

奥からどんどん蜜が溢れてきてしまいます…っ

ぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅるっぢゅぼっ

んんっ、んあっ♡

んふー…♡

お口の中で膨らんできましたぁ♡

んぢゅるるるっ

恥ずかしいですが…私の痴態を見て、もっと興奮してくださいね♡

ぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅるるっ

ぢゅれるっぢゅれるっぢゅるっぢゅるっ

れりゅっちゅぼっちゅぼっちゅぼっちゅぼっ

ぢゅるるっちゅぼっちゅぼっちゅぼっちゅぼっ

んはあっ♡

はあー…はあー…♡

あっ、んあっ、はあっ♡

れろれろれろ…ぢゅるるっ

指、速くすると中がきゅって強く締まる…っ

ぢゅるっちゅぶるっれろれろれろ…

勇者様に見られていると思うと…っ

恥かしさが相まって、余計に気持ちよさが増します…っ♡

ぢゅぼっちゅるっちゅぼっちゅぼっちゅぼっ

ぢゅるるるっ

おちんちん、どんどん硬くなって行って…っ

ぢゅぶるっちゅるるるっ

ぢゅぼっちゅぼっちゅぼっちゅぼっちゅぶるるっ

こんな雄の象徴を見せつけられてしまうと…っ

んぢゅっちゅるっ

女性は直ぐに勇者様を好きになってしまいます…♡

んんん…っ

んう、んぢゅっちゅるっ

んっ、ぢゅるっぢゅるるっ

脚、はしたなく開いてしまっでごめんなさい…っ♡

ぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ぶぢゅるるるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ぢゅるっぢゅぼっぢゅるるっ

はあ…っ♡

おまんこ凄くヒクついてきましたあ…っ♡

ぐぢゅぐぢゅ卑猥な音を立てながら、イキそうになってます…っ♡

ぢゅぶるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

勇者様も遠慮なく、好きなタイミングで、

私の口内へ吐き出してくださいね♡

ぢゅるっぢゅぶるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ぢゅぶるっぢゅるるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

んふー…♡

ふうー…♡

お口の中ぱんっぱんでふ…♡

イキそうなの、伝わってくる…♡

残らず吸い取りますから、全部射精してください♡

んぶっ♡

ぶぢゅるっぢゅるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ぢゅるるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

れぢゅっぢゅるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

出してっ♡

ぢゅるっぢゅれるっ

全部出してっ♡

んぢゅっぢゅぶっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ぢゅるっぢゅるるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

んっ！

んんんんん～っ！♡

んう…ッ

んふ…んぐ…っ

んっんんう♡

んっんっんっんっんっんんん～…ッ

んんんんんーッ♡♡♡

んふー…♡

んふー…♡

んふー…♡

んぐっ…んっ…

ごくんっ♡

ぷはあ…ツ♡

はあ…はあ…はあ…はあ…

喉奥に、精液がこびりついてます…♡

んあ…♡

これ、塊です…♡

ゼリーみたいな精液…♡

はあ…♡

とっても臭くて濃厚で、美味しかったです♡

大量に出していただいて、有難う御座います♡

それに…

私もまた、沢山嘔いてしまいました♡

勇者様とほぼ同時にイってしまって…♡

んっ…

ふふ♡

まだまだ元気そうですね。

では、次は勇者様が仰向けに寝転んでいただけますか？

勿論。

…今日も空っぽになるまで、お仕えさせていただきます♡

上、失礼致します。

服を全て…ですか？

…そうですね♡

先程のような姿を見られているとは言え、恥ずかしさはありますが…

修道着(しゅうどうぎ)は脱いでしまいませんか♡

出来れば、勇者様も同じ格好になっていただきたいです…♡

ここ…

おちんちんとおまんこでキス…させてください♡

あつ♡

ん…っ

割れ目に勇者様の熱いおちんちんが食い込んで…っ

んんっ…♡

硬いのも、脈打ってるのも、全て伝わってきます…♡

んあっ♡

あっ、はあっ、あっ、あっ、あんっ

腰、動かすとおちんちんがびく、びくって…っ

ぬるぬるの感触が気持ちいいんですね…♡

んっ、んくっ…

あっ、んあっ、あっ、あっ

段差の部分に、クリが引っかかる…っ

はあっ♡

あっ♡

クリ気持ち良くて、またすぐお漏らししてしまいそうです…っ

腰、止めるのはダメ…？

あ…っ

くう…♡

やっぱり、勇者様は意地悪ですね…っ♡

あっ、はあっ♡

でも、勇者様からのお願いを、聞かない訳にはいきません…♡

んんんっ♡

はあー…はあー…♡

あっ、んうっ♡

さっきまで、自分で弄っていたせいもあって…っ

はあっ、あっ、あっ♡

おまんこが敏感になってしまっているみたいです…っ♡

んんう…っ

あっ、はあっ…あっ、あっ、あんっ

んああ♡

腰、動かされると…っ

おちんちんが割れ目にぎゅうって押し付けられてえ…っ

あっ、あんっ、あっ、あっ、あっ♡

見てください…♡

勇者様のおちんちん、おまんこに挟まれて見えなくなってしまうそうです♡

あっ、んうっ、はあっ、あっ、あっ

んあっ、あっ、あっ、ああっ♡

あっ、これえ…♡

ダメです…っ

また出る…っ♡

クリにゴリゴリ擦られると、気持ちよくて腰へこへこしてしまいます…っ

あっ、あひっ、あっ、あんっ、あっ

クリ皮剥けてるっ♡

こりこりおちんちんに転がされてえ…っ

あっ、あんっ、んあっ、ゝあっ

イ、イク…っ♡

口、

勇者様に気持ちよくなっていたきたいのに…ッ

あんっ、あっ、んあっ、あっ、あっ

激しくすると、入ってしまいます…っ

おちんちんの先端が、おまんこの入り口何度も滑ってえ…っ

んいつ♡

はあっ、ゝあっ、あっ、あんっ、あっ、あひっ♡

ま…ッ

イきますッ♡

イってしまいますッ♡

ゝあっ、はあっ、あっ、んっ、あっ！

あひっ、あっ、ゝあっ、ゝあっ、あんっ、ああっ！

んゝああああああッ♡

はあっ…

はあ…はあ…はあ…♡

申し訳御座いません…♡

私だけ気持ちよくなってしまっ…♡

勇者様の体を、私のお漏らしで汚してしまいました…♡

勇者様…♡

どうぞ、こちらを使ってください♡

イキたてのおまんこで、おちんちん好きに扱っていただきたいです♡

お好きな体位で、聖女の穴をお使いください♡

トラック3 ～ヒロイン私室 トラック2続き～

このまま、私(わたくし)が上のままですか…？

では、勇者様のおちんちん、おまんこで飲み込んでしまいますね…♡

んあ♡

んんんんう…っ

はあ…はあ…はあ…♡

凄い圧迫感です…♡

あ、ああ…んんん♡

はあー…はあー…♡

全部入った…♡

はい♡

処女膜、破れてしまいました♡

実は、こうして勇者様にお仕えするのは初めてなんです…っ

んんんっ♡

でも、貴方様にこうして純潔を貰っていただけて、嬉しいです…っ♡

どうしてって…

ふふ…内緒です♡

痛みは余りないですよ…っ

勇者様のおちんちんがぴったりおまんこに嵌って、

逆に、中がぞわぞわしているんです…っ♡

動きますねっ…♡

あっ♡

あっ、んうっ、んんっ、あっ、あっ、あんっ

どうですか…？

気持ちよくなれていますか…っ？

あっ、ふう…っ

挿れただけで気持ちいい…？

良かった♡

あんっ、あっ、はあっ、あっ

処女まんこはやはり、締め付けが強いんですね…っ♡

勇者様のおちんちんも、とっても硬くて、苦しい位です…♡

んあっ、あっ、あっ、あんっ、はあっ

あっ、んっ、んんっ、あっ、あっ、んあっ

お好きな時に、動いてくださいねっ…♡

下から突き上げて、おまんこでしこしこ扱いていいんですよ…っ♡

あああんっ♡

奥…っ♡

奥にぶつかってます…っ♡

子宮の入り口におちんちんが食い込んでえ…♡

んひ…っ♡

あっ…♡

赤ちゃんのお部屋、押し上げられるの凄いですう…ッ

んゝあああああ～…ッ♡

あっ、うう…っ

はあっ、んうううっ♡

ふうー…ふうー…っ♡

奥ぐりぐりほじられる…っ♡

あっ、んいつ、ああっ、あっ、んぐっ♡

おまんこが勝手に締まってしまいますう…ッ♡

腰っ♡

腰震えてしまってえ…っ♡

はあー…はあー…はあー…♡

あっ、んあっ、あっ、はあっ、あっ、あんっ

勇者様からの突き上げ嬉しいです♡

はあっ、あっ、んあっ

おまんこの隅から隅まで、味わおうとしてくれてるみたいな動きっ♡

あっ、あっ、んいつ、あっ、あっ、あんっ

はあっ、あっ、あんっ、あっ、あっ、あっ

腰落とす度に、一番奥に届くうっ♡

勇者様も、口が開いてきましたね…っ♡

熱い吐息が漏れてるの、分かります♡

んあっ、あっ、あうっ、あっ、あっ、あんっ

私も、初めてなのに気持ち良くて♡

んうっ♡

中がぶるぶる痙攣してます♡

あっ、あんっ、あっ、はあっ、あっ

あっあっあっ、あんっ、あっあっあう♡

イ、イクっ♡

口、

勇者様の凶悪なおちんちんでえ…♡

あっ、はあっ、んあ♡

またアクメしてしまいますっ♡

あ～…っ♡

あっ、あっあっあっあっあっあっ♡

きもちっ♡

ああ♡んあっ、あっあっあっあっ♡

あつ、出るう…♡

また勇者様に沢山かけてしまいますっ♡

はあつ、あつあつあつあつ♡

ああ～…ツ

イクっ♡

勇者様っ♡

あつあつあつあつあつあつあつあつ♡

イツッツ♡

つぐうううう～…ツ♡

はあつ…

はあー…はあー…はあー…♡

んっあああああ…っ♡

んへえ…♡

い、今…今、いったばかりのおまんこ…♡

おちんちんでまた満たされてしまいましたぁ…♡

あつあつあつあつ、はあつ、んあつ♡

勇者様♡

また勇者様を、お漏らして汚してしまっっ♡

あっ、んあっ、あっあっあっ♡

お詫びに、この聖女の穴で、精一杯お詫びさせてください♡

あっ、んあっ、あひっ、あっあっあっ♡

はあっ、んうっ、あっあっあっ♡

“あっ”あっ”あっ”♡

んあっ、“あっ”あっ”♡

激し…ツ♡

激しいですう…ツ♡

勇者様あ♡

“あっ

出して下さい♡

勇者様の濃厚なミルクうっ♡

子宮に全部吐き出してえ♡

“あっ”あっ”あっ”♡

ぎもち♡

“あっ♡

いっぐ♡

いっぐ♡

いっぐう～～…ツツ

“あっ”あっ”あっ”♡

“あっはあっ、”あっ”あっ”あっ”あっ”あっ”あっ♡

“あああああああッ♡♡♡

お…♡

すごいですう…♡

はあっ…”あっ…♡

お、お腹が熱い…♡

勇者様の射精の勢いで、また伊ってしま…ツツ♡

んっへえええええ…♡

お、おちんちんが挿ったまま、ハメ潮してしまいましたあ…♡

んはあ…っ♡

はあ…はあ…はあ♡

勇者様…？

んむっ♡

んんっ、んふ…ちゅっちゅぱっちゅう

ちゅっちゅっ、ちゅるっちゅぱっちゅっ

はあ…っ

いきなり起き上がられるから、何事かと思いました…♡

まさか、キスをいただけるだなんて…♡

良ければ、私(わたくし)からもさせて下さい♡

んちゅっちゅぱっちゅるっちゅっ

ぢゅるっちゅっちゅぱっちゅっちゅう

んはあ…♡

はい…♡

舌、沢山絡めましょう…？♡

んちゅっちゅるっちゅぱっちゅっちゅうっ

ぢゅるるっちゅっちゅぶっちゅれるっれりゅっ

ちゅぱっちゅっちゅるっちゅるっちゅうう

んんんっ♡

勇者しゃまあ♡

またおちんちんが硬くなってましゅ…♡

んむっ♡

ぢゅっちゅぱっちゅっれりゅっぢゅるるっ

むくむくとおまんこの中でえ…っ♡

んんう♡

キスで勃起してらっしゃるんですねえ♡

ぢゅるっちゅぱっちゅうぢゅっちゅぶ

ぢゅれるっちゅっれりゅっちゅうっ

んぢゅっぢゅっぢゅぱっぢゅるっぢゅっ

んんんっ♡

きしゅはめえ…♡(キスハメ)

ぢゅっぢゅぱっぢゅるるっ

勇者様の性欲、しゅごいですう…っ♡

んぢゅっぢゅるっぢゅっぢゅぱっ

旅の途中も、きっと沢山溜めていらっしまったんですね♡

んむっ、ぢゅっぢゅぶっぢゅるっぢゅうっ

おちんぼ様に満足いただきたいです♡

ぢゅるっぢゅぶっぢゅっ

もっともっと、思うままの欲を、私にぶつけてください♡

ぢゅっぢゅるっぢゅうっれりゅっ

ぢゅれるっぢゅっぢゅるっぢゅうっ

ぢゅっぢゅぶっぢゅっぢゅるっぢゅっ

んふうー…♡

んぢゅっぢゅるっぢゅぶっぢゅっぢゅう

ぢゅるるっぢゅっぢゅぶっぢゅぱっぢゅっ

勇者様と抱き合っするセックス…♡

気持ちが高ぶってしまいます…♡

ぢゅるっんんっ♡

下からの突き上げの度、子宮の入口にもキスされて…♡

んぢゅっぢゅぱっぢゅっ

また気持ち良くて、子宮がぐいぐい降りてきてます…っ♡

んんうつつ♡

あっ、あっはあっ♡

おまんこの中で、おちんぼミルクが攪拌されてますう♡

私のえっちなお汁と混ざって…っ♡

あっあっんあっ♡

勇者様のミルクが、おまんこに塗りつけられていくう…♡

んう♡

んぢゅっぢゅるっぢゅぱっぢゅっ

ぢゅるるっぢゅれりゅっぢゅぷっ

ぢゅぱっぢゅっぢゅるっぢゅっ

このままでは、勇者様の雄の匂いが、おまんこにこびり付いてしまいますね♡

んん♡

ぢゅっぢゅるっぢゅぱっぢゅっぢゅるっ

んんんっ♡

んふうー…♡

んぢゅっぢゅぱっ

ぎもちい…っ♡

んふうー…♡

ぢゅっぢゅるっぢゅぱっぢゅうっ

おまんこ、イキ癖ついてしまったかもしれません…♡

はあっ♡

あっ、んあっ、あっ`あっ`あっ♡

キスしていると、おちんぼ様の形が…っ

んんんんっ♡

おまんこの中で鮮明に感じとれてしまっえ…♡

ガチガチのぶっといおちんぼ様で、

またお潮が止まらなくなってしまうすう♡

んぢゅるっぢゅっぢゅうっぢゅぱっぢゅるっ

ぢゅるるっぢゅっぢゅうっぢゅっぢゅるっ

`ん`ん`ん`ん`ん♡

ぶはあっ♡

`あっ`あっ`あっ

勇者様っ♡

腰、引き寄せながらピストンっ♡

さっきよりも深いところおッ♡

ぎもちよすぎますう…ツツ♡

んぶっ♡

ぢゅるっぢゅるるっぢゅぱっれりゅっ

中に出してっ♡

どろどろなミルクで、満たしてっ♡

んぢゅっぢゅるっぢゅぱっぢゅるるっぢゅれりゅ

出してっ♡

ぢゅるっぢゅぱっ

出してっ♡

ぢゅるっぢゅぱっぢゅるっぢゅるるっ

れりゅっぢゅるっぢゅれりゅっぢゅっ

ぢゅぱっぢゅっぢゅるっぢゅるるっぢゅっ

んっふううううううー…ツツ♡♡♡

ふうー…♡

んふうー…♡

ふうー…♡

ふはあ…っ♡

はあ…はあ…はあ…♡

2回目の中出し…♡

有難う御座います…♡

いっちばん奥に出していただいて…♡

まるで種付けされている様です…♡

はあ…っ♡

んん…♡

ちゅっちゅぱっちゅっちゅるっ

ちゅうっちゅっちゅるっちゅぱっ

“あっ…

まって♡

今、抜こうとしないで…っ♡

ま、またお漏らし我慢できなくなるう…っ♡

ん“あ”あ“あああああ～…っ♡

こ、腰後ろに反らせて、下品な格好してしまいました…♡

恥ずかしい…♡

“あっ…♡

はあ…♡

はあ…はあ…♡

ん…♡

おちんぼ様、たあくさん吐き出しましたね♡

私(わたくし)にお掃除させてください♡

あーむ♡

ぢゅるっぢゅっれりゅっぢゅぶっ

ぢゅるっぢゅぼっぢゅるるっ

ぢゅぼっぢゅぼっぢゅぶっぢゅるっ

最後の一滴まで…♡

ぢゅぼっぢゅるっぢゅるるっ

ぢゅぼっぢゅぼお…

ぢゅるるるるるっ

ごくん

はあ…っ

ふいふ♡

尿道に残ったミルクもいただきました♡

ご馳走様でした♡

はあ…♡

今日も、また沢山汚してしまいましたね…♡

勇者様はお気になさらないで下さい。

どうぞ、今宵もぐっすりお休みなさいませ。

お部屋までお送りできませんが…♡

また、この街に滞在されている間は、

私(わたくし)に、いつでもお声掛けくださいね♡

トラック4 ～ヒロイン私室～

勇者様。

お待ちしております。

どうぞ中へ。

ベッドへお掛けになってくださいね。

え？

体…ですか？

あ…

ふふ。

大丈夫です。

私(わたくし)の体を気遣ってくださるなんて…

やっぱり勇者様はお優しいですね。

昔から…

あ、いえ。

なんでもありません。

それより、勇者様？

今日は膝枕…してみませんか？

はい。

私(わたくし)の膝の上に、です。

照れる…？

ふふ。

そういうものなのですね♡

ですが、膝枕は恥ずかしい事ではありません♡

どうぞ、遠慮なさらず、頭をこちらへ乗せてください。

頭、失礼しますね…

大人になると、頭を撫でられる事は少なくなりますが…

たまに、誰かに甘えたいくなる時って…ありませんか？

勇者様とはいえ、人の子です。

今は…

勇者様ではなく、貴方様が1人の人として…

私(わたくし)に甘えていただけると嬉しいです。

ふっ…♡

緊張が解けませんね。

胸…気になりますか？

大きくて、勇者様の頭に触れてしまっていますよね…

ふふ♡

申し訳御座いません♡

わざとです。

勇者様がずっと私の胸を気にされていたのを知っていたので…

少しだけ、意地悪をしてしまいました♡

お詫びに、私(わたくし)のおっぱい、好きにしてください♡

どうぞ♡

触りますか…？

それとも、このまま赤子の様に乳首を吸ってみますか？♡

んんっ♡

あつ…♡

乳首、ちゅうって吸われてます…♡

あつ、んんっ、ふう…っ♡

美味しい…？

勇者様ったら…♡

私も、勇者様のお口の中で乳首が転がされて…っ

とっても気持ちいいです…♡

んうっ…あつ、はあつ、んっ、んん♡

はあー…♡

はあー…♡

おちんぼ様も、勃起していますね♡

んっ…

このまま、手でしこしこさせてください♡

昨日、あんなに沢山出したというのに、

勇者様のここは…今日もとっても元気ですね♡

あんっ♡

はあ…♡

先程の…？

ああ…♡

勇者様が、私の胸を気にされていたという件でしょうか♡

昨日、私が上に乗っている時に、ずっとおっぱいに視線を感じていたので…♡

んんっ♡

大きい胸がお好きなのかと…♡

あっ、んっ、あっあっ、ああ♡

甘噛みされると、子宮が無意識に悦んでいるようです…♡

発情させられているかの様な、甘い刺激が…♡

んあっ、あっ…

はあ、あっあっあん♡

カウパー、溢れてきました♡

先っぽでぐちゅぐちゅ泡立てながら、ちゅこちゅこしますね♡

ちゅこ、ちゅこ、ちゅこ…♡

おちんぼ様がビクビク跳ねて…

んっ…

亀頭の部分を揉むみたいに、こうやってすると…

んっ…はあ…♡

どんどん硬くなっていきますね♡

あっ…んん♡

ここ、好きなんですか？♡

どんどんカウパーの量が増していったようです♡

くちゅ、くちゅ、くちゅ…♡

少しずつ緊張が解れてきましたね♡

はあ…んん…

ん…ふうっ…♡

すり、すり、すーり♡

しこ、しこ、しこ、しこ…♡

んふー…♡

ふうー…はあ…はあ…♡

んんん♡

乳首そんなに吸ったら、おまんこからえっちなお汁が溢れ出してしまう…っ♡

私(わたくし)の乳首、美味しいですか？♡

ふふ♡

思わずがつついてしまう勇者様…可愛い♡

ふう…ん…♡

可愛いなんて、勇者様には失礼かもしれませんが…♡

あっ♡

両方の乳首、同時に吸って…っ♡

いいんですよ♡

もっと、も一つと私に甘えてください♡

はあ…んん…♡

ふうー…ふう…んん、ん…♡

おちんぼ様、どこまで硬くなるんでしょうか…♡

玉々の方も、もうパンパンに膨らんでいる様に見えます♡

ふう…ん…

んん…はあ…はあ…♡

乳首を咥えている吐息がどんどん熱くなってますね♡

お腹に力も入って…気持ちいいのが見て取れて、嬉しいです♡

ちゅこ、ちゅこ、ちゅこ♡

しーこ、しーこ、しーこ♡

ふう…はあ…♡

精子のお漏らし止まりません♡

すーり、すーり、すーり♡

扱く度に、ぴゅっぴゅって溢れちゃってますよ♡

はあ…はあ…♡

んん…ふう…♡

はあ…あっ…んん♡

勇者様ったら、我慢されてますか？

ふふ♡

我慢など、なさらないでください♡

気持ちいい感覚のまま、私(わたくし)の授乳手コキで、

上って(のぼって)くる精液…そのまま射精して構わないのですよ♡

ふう…ふうー…♡

あつ…はあ…♡

私も、勇者様のお口が気持ち良くて…っ

はあ…あんっ♡

乳首が段々と痺れてきました♡

ぷっくり腫れて、まるで母乳でも出そうな位です…♡

んっ…

さあ、勇者様。

このまま一番高いところまで上って(のぼって)しまいたいしょう？♡

おちんぼ様から、たあーっぷりのミルク…搾り出しますね♡

んっ、んんっ、んっ、あ♡

腰が魚のように跳ねてます♡

んっんっんっんっんっ♡

はあ…っ♡

いつでも好きな時に出してください♡

はあ…♡

ふう…っ♡

はあ、んん♡

いいですよ♡

ぴゅーして？♡

おちんぽミルク、沢山ぴゅーしてっ♡

んっんっんっんっんっんっ♡

あっ♡

んんんんん…っ♡

はぁ…はぁ…はぁ…♡

どろどろのミルク…♡

勇者様の胸まで飛んでしまいましたね♡

達する時に、勇者様が乳首を思いきり噛まれたので、

私まで軽くイってしまいました…♡

ふふ♡

大丈夫ですよ♡

あ…

勇者様、こちらにそのまま仰向けに寝転んでください。

上、失礼しますね♡

勇者様の体にかかってしまった精液…

私にお掃除させてください♡

ん…♡

まずはお臍の辺りから…♡

れろお…れろお…♡

ぢゅるっぢゅぱっぢゅるるっ

れろれろれろ♡

今日も濃厚で、雄臭い…♡

んぢゅっぢゅるるっ

れろお…ぢゅぱっぢゅるっ

れえろ…れろれろれろ♡

次は…胸元ですね♡

ちゅるっちゅぱ、ちゅるっ

れえろ…れえろ…

ちゅぱっちゅるっちゅう…

あ…

乳首にもかかってしまっています♡

んれろお…♡

れえろ…れえろ…

ぢゅるるるる♡

んふう…♡

ちゅぱっちゅぱっ♡

乳首…お好きですか？♡

れえろ…ちゅぱっちゅるるっ

舐めた瞬間、勇者様の乳首がびくびくして…

ちゅるるるっ♡

んはあ…っ

今は、どんどん口の中で硬くなっていきます♡

ちゅぱっちゅるっちゅるるっ

れえろ…れえろ…れろれろれろ

ちゅるるるるっ

ちゅぱっちゅぱっ

ちゅるっちゅっちゅうう♡

はあ…♡

おちんぼ様も、乳首と同じ様に、また膨らんできました…♡

反対も…♡

ちゅるるる♡

ちゅぱっちゅるっちゅうう♡

れえろ…れえろ…

れろれろれろ

ぢゅぶるるる♡

はぁ…ふう…♡

んぢゅるるっぢゅるっぢゅぱっ

れえろ…れえろ…

ぢゅるっぢゅぱっぢゅるっ

ぢゅううう♡

こりこり乳首、美味しいです♡

勇者様…？

もしかして、今しこししたら、またすぐに出てしまいそうですか…？

ふふ♡

先程よりもおちんぼのびくびくが激しいので、もしかしてと思って…♡

乳首も刺激したまま、手でしこしするので…

まだ玉々に残っているおちんぼミルク、出してしまいましょう？♡

ぢゅぱっぢゅるっぢゅっ

れえろ、れえろ、れえろ…

ぢゅぶっぢゅるっぢゅるるっ

ぢゅうっぢゅっぢゅぱっ

乳輪も膨らんできましたね♡

んぢゅっぢゅぱっぢゅるっ

しこしこしていない方の手…空いているので、

こちらの乳首、指でかりかりしましょうか♡

ぢゅるう…ぢゅぱっ

れろれろれろ…

ぢゅるっぢゅぱっぢゅっ

ぢゅうう…れえろれえろ…

ふう…んん♡

くり、くり、くり…♡

指で優しくこねこねすると、おちんぼ様が爆発しそうな程、

ガッチガチに膨らみますね♡

ぢゅるうっぢゅぱっぢゅっ

ぢゅぱっぢゅぱっぢゅうう

れえろれえろ…ぢゅるるるるう

んはあ…っ♡

爪でカリカリも…♡

カリ、カリ、カリ…♡

ん…♡

もう、出そう…？

かしこまりました♡

ぢゅるっぢゅぱっぢゅるるっ

ぢゅっぢゅうっぢゅぱっぢゅぱっ

れえろ、れえろ、れろれろれろ…

指もカリカリ早くします♡

ぢゅっぢゅぱっぢゅっぢゅう

ぢゅるるるっ

出して♡

ぢゅっぢゅうっぢゅるっ

出して♡

ぢゅるるるるっ

ぢゅぱっぢゅぱっぢゅるう

金玉に残ってる精液、全部出してっ♡

ぢゅっぢゅうっぢゅるるっ

ぢゅっぢゅるるっぢゅうっ

ぢゅぱっぢゅるっぢゅるるっ

ぢゅうううう♡

んうっ♡

あっ…♡

ああ…さっきより出てるかも…♡

はあ…♡

息も荒くなって、気持ち良かったのが伝わってきます♡

ふい♡

お体、タオルで拭いておきますね♡

お疲れでしたら、このまま私のベッドを使ってください。

…え？

一緒に…？

ですが…

勇者としてのお願いだなんて…

そう言われてしまうと、断れなくなってしまう…。

え？

ふふ♡

いいえ。

嫌なのではなく、私が夜通しお傍にいてもいいものかと…

緊張してしまいますが…

かしこまりました♡

勇者様が望まれる事は、叶えるのが聖女の務めです。

今宵は傍にいらさせてください…♡

はい♡

それでは…お休みなさいませ、勇者様。

トラック5 ～ヒロイン私室～

今晚は。

どうぞ。

今日はお話があるとお聞きしたのですが…

何かありましたか…？

え…？

あ…

そう…ですか。

明日の夜に発たれるのですね。

寂しくなってしまいますね…。

ですが、勇者様の力を必要とされている方がいらっしゃるということ。

寂しいですが、明日(あす)の晩は、お見送りさせてくださいね。

では、今日は私の全てで、勇者様にお仕えさせていただきます♡

ベッドへあがってください。

勇者様のおちんぼ…

もうズボンを押し上げてますね♡

私が脱がせてしまっても構いませんか？

では、腰を上げてください♡

もっと大きくしていただく為に、私も脱ぎますね♡

脚の間、失礼しますね。

おっばいでおちんぼ様、しこしこさせてください♡

んっ…

ふい♡

おちんぼ…おっばいに全て隠れてしまいました♡

あっ♡

むくむく～って、おっばいの間でどんどん膨らんでいってます♡

どうですか？

私(わたくし)のおっばいの感触は…♡

弾力が凄い…？

意外と圧迫感が強いという事でしょうか♡

では、おちんぼ様にも、きっと満足いただけますね♡

このままパイズリ…させていただきます♡

んっ…

ふう…♡

んん…

はあ…

ふう～…♡

ちょっとしこしこしにくいかも…っ

ん…っ

おちんぽに涎、かけますね♡

んれえー…

おっぱいで塗りつけて…♡

ああ♡

だいぶ扱きやすくなりました♡

ふう…ん…

はあ…はあ…♡

熱くて硬い感触が、おっぱいに直接伝わってきます…♡

んん…♡

ん…ふう…♡

ふう…♡

こうやって、ただ扱くだけでなく、

左右のおっぱいを揺らして圧迫したら…っ♡

んっ♡

んんん♡

ふうっ♡

ふうん♡

カウパー大量です♡

んれえー…

ふふ♡

私の涎も落とすと、にゆるにゆるで、

まるでおっぱいがおまんこになったみたいですね♡

勇者様？

おっぱいまんこに…

勇者様の雄臭いカウパーとミルク、飲ませていただけますか？♡

どうか、貴方様の雄の匂いを私に染み込ませてください♡

ん…ふう…♡

はあ…ふう…♡

勇者様が旅立たれた後も、すぐにはその痕跡が消えないよう、

今宵は、この金玉が空っぽになるまで、私に全ての精を吐き出してください♡

あ…♡

もう完全に勃起しましたね♡

おっぱいの上から、おちんぽ様が顔を出してます♡

ちゅこちゅこって、えっちな音を立てる度に、

舐めて欲しそうに唇まで届いてますよ♡

いただきます♡

んむ♡

ぢゅるっぢゅるるっぢゅっ

れろれろれろれろ…

先っぽ啜えると、おちんぽが脈打って…♡

どくん、どくんっておっぱいに伝わってます♡

ぢゅるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ぢゅっぢゅるるっぢゅっぢゅっ

んはぁ♡

少し強めに扱いますね♡

勇者様のおちんぽを啜えていると、おまんこがひくついて…っ

ん…ふう…っ♡

発情させられてしまいます♡

ん♡

ぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ぶぢゅるるるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ぢゅるっぢゅっぢゅっぢゅるる

はぁ…っ

明日から勇者様がいないだなんて、とても悲しいです…

旅に出られてしまえば、またいつこの街を訪れるか分からないと思うと…

本当ですか…？

んっ…

では、その言葉を信じております♡

必ず、ですよ…？

んぢゅっぢゅるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

ここからは、こちらに集中してください♡

んふう…♡

ぢゅるっぢゅるるるっ

気持ちよくなる事だけ考えて…

私の事も忘れない様に、勇者様に覚えていてほしいです…♡

ぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅるっ

ぢゅるるるっぢゅっぢゅっぢゅるっ

ぢゅるっぢゅっぢゅぶるるるっ

張り裂けそうな位、亀頭が硬くなってきました…♡

ぢゅるっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっぢゅぼっ

れろれろれろれろ…

出そうになってるんですね♡

んぢゅっぢゅるっぢゅぼっぢゅぼっ

ぢゅるるるっ

カウパーも濃くなってきてます♡

ぢゅるう…

一度出してしまいますか？

はい♡

では…♡

ちゅるう…

ちゅぼっちゅぼっちゅぼっ

ちゅるっちゅっちゅぶるっちゅるっ

ちゅぼっちゅぼっちゅぼっちゅぼっ

ちゅるるるるっ

おっぱいに精子ください♡

んちゅっちゅるっちゅぶるっ

勇者様のおちんぽミルク、おっぱいに飲ませて♡

ちゅるっちゅぼっちゅぼっちゅぼっ

出して♡

ちゅるっ

いっぱい出して♡

ちゅぼっちゅぼっちゅぼっちゅるるっ

ちゅれるっちゅれるっちゅるっちゅるっ

ちゅれるっちゅるっちゅぼっちゅぼっちゅぼっ

ちゅぶるっちゅるるるっ

んっ♡

ふううううう～っ♡

んんんー…♡

んふー…

んふー…♡

ごくん♡

ふはあっ♡

はあ…はあ…はあ…♡

濃縮精液美味しい…♡

鼻までくっさい匂いがあがってくるのに、美味しく感じてしまいます…♡

でも…まだ尿道に精子、残ってますよね？

んっ♡

はあっ♡

おっぱいで絞り出しますね♡

んっんっんっ♡

ふう♡

はあ♡

あっ♡

むぎゅ〜って目一杯圧迫して、こすこす強くしたら…っ♡

はぁ…っ♡

んっ♡

んっ♡

はぁ…ツ

あっ♡

あ〜…♡

はぁ…はぁ…はぁ…♡

ふい♡

おっぱいまで勇者様のおちんぽミルクで染まってしまいました♡

見てください♡

おっぱいの間でこねこねしたら…

ねちゃあ、ねちゃあって…精液が練り上げられてます…♡

ん…♡

勇者様？

そろそろこちらにも…♡

どうぞ後ろから、好きなだけおまんこをお使いください♡

勇者様のおちんぼ様は媚薬ですね♡

太腿まで垂れてしまいそうな位、とろとろになってしまいました…♡

あっ♡

そんな、目一杯広げないで…っ♡

お尻の穴がひくひくしてしまいます…っ♡

んあっ…♡

おまんこ期待してます…♡

このまま一気に奥まで挿れてください♡

あ、あああああッ♡

膣肉をゴリゴリかき分けて入ってくるおちんぼ様…♡

相変わらずカッチカチで素敵です…っ♡

あっ、はあっ、あっ、あっ

んあっ、あっ、んんっ、あっ♡

肌と肌がぶつかり合う音♡

後ろからだ、と、凄く響きますね…っ♡

あっ♡

ふう…っ♡

勇者様のおちんぼの形、しっかり私のおまんこで覚えたいです♡

あっ、はあっ♡

あっ♡

またお会い出来る日が来るまで忘れないように…っ

沢山おまんこしてください…っ♡

あっ、あんっ、あっ、はあっ、あっ

奥に響くみたいな、一突き♡

それ、好きです♡

あっ、あっ、あっ、あんっ、あっ♡

中が悦んでるのが分かります♡

あっ、はあっ♡

お腹がきゅうきゅうして…っ♡

おちんぼ様に、おまんこが媚びているみたいです♡

あっ、あっ、んんっ、あっ、あっ、あんっ♡

んいつ♡

腰掴んだまま、ぱんぱん激しいッ、ですっ♡

はあっ、あっ、あんっ、あっ、あっ、あっ

んあっ、`あっ`あっ`あっ`あっ♡

おちんぼ様、気持ち良すぎますっ♡

あっ、んあっ、ああっ、あっ♡

勇者様はどうですか…っ？

んっ、んっ♡

私のぐちゅぐちゅに蕩けたおまんこ…♡

あっ♡

気持ちいいですか…っ？♡

んっ♡

嬉しいです♡

んうっ♡

んあっ、あっ、あうっ、あっ、あっ、あんっ♡

腰…ッ、腰が勝手にへこへこしてしまいますっ♡

気持ちいい所に当たってえ♡

んあっ、`あっ`あっ`あっ`あっ♡

気持ち…っ♡

あ、これ…っ♡

これ、また出てしまいますっ♡

ハメ潮出ちゃううう…っ♡

`あっ`あっ`あっ`あっ`あっ♡

おちんぼ強いつ♡

“あっ、”あっ♡

お漏らしさせようとしてますっ♡

意地悪な勇者様っ♡

あっあっあっ、あんっ、あっあっあう♡

もう出ますう…っ♡

勇者様より先にアクメきめてしまいますっ♡

“あっ”あっ”あっ”あっ”あっ

“あっ”はあっ、”あっ”あっ”あっ”あっ”あっ♡

“あっ、”あああああー…っ♡

あっ♡

あ…っ♡

はあー…はあー…はあー…♡

よ、余韻が…♡

体がびくびく震えて止まりません…っ♡

あ…っ♡

んむっ♡

ぢゅるっぢゅぶっぢゅるっぢゅるるっ

ぢゅぱっぢゅっぢゅるっぢゅうっぢゅる♡

勇者しゃまあ…♡

キス、激しいです…♡

んんん♡

ぢゅっぢゅるうぢゅっぢゅるっ

ぢゅぱっぢゅるるっぢゅっぢゅう

んんんんんん♡

はあ…ツ！

はあ…はあ…はあ…♡

キスしたまま、おちんぽを挿れるなんてえ…♡

さっきいったばかりのおまんこ、またアクメしてしまいそうでした…♡

んあっ、あっ、あっ、あんっ、はあっ

あっ、んっ、んんっ、あっ、あっ、んあっ♡

どちゅどちゅ上から突かれるの好き♡

勇者様の力強いピストンっ♡

あっ♡んぐっ♡

子宮がぐいぐい降りてきちゃいますっ♡

んぢゅっ、ぢゅるっぢゅっぢゅうっ

ぢゅるるっぢゅぶっぢゅるっぢゅっ

ぢゅるるっぢゅうぢゅるっぢゅっ

もっと♡

もっと、おまんこ擦ってえ♡

ぢゅるっぢゅっぢゅぱっ

射精欲高めてください♡

んぢゅるっぢゅっぢゅうちゅぱっ

ぢゅるっぢゅっぢゅるっぢゅるっ

精液ぐつぐつにしてほしいですう♡

ぢゅるっぢゅぱっぢゅるるっ

ぢゅうっぢゅっぢゅぱっぢゅるっ

ぢゅるうぢゅっぢゅるっぢゅるる

はあッ♡

あっ、うっ♡あっ♡

っほお♡

また先にイってしまいます…ッ

ぎもちよすぎるう…ッ

“あっはあっ、”あっ”あっ”あっ”あっ”あっ♡

勇者様も、出そうなんですねっ♡

“あっ、ぐっ、”あっ”あっ”あっ♡

出してえッ♡

出してくださ”いッ♡

んへっ♡

“あっ”あっ”あっ”あっ♡

んあっ、“あっ”あっ”あっ”あっ♡

おまんこにつ♡中出し♡

“あっ”あっ”あっ”あっ”あっ♡

あっ、あっ、んいつ、あっ、あっ、あんっ♡

んあああああああツツ♡

んっひ…♡

あっ…♡

あっ…♡

んへえええええー…♡

いきなり、おちんぼ抜くなんてえ…♡

我慢してたのに、お漏らし出ちゃいましたあ…♡

“あツツツツ♡

まだまだ物足りないのですね…っ♡

はあっ、あっ、あんっ

はしたない聖女のおまんこ♡

んひっ♡

勇者様の凶悪おちんぼ様で、朝までお仕置きしてくださいっ♡

あっ、あっ、あっ、ゝあぐっ、ゝあっ

んあっ、あっ、はあっ、ゝあっ、ゝあんっ♡

中出し精液♡

また奥にどんどん押し込められてえっ♡

あっ♡ゝあっ♡はあっ♡

孕んじゃいますっ♡

勇者様の赤ちゃん♡

受精しちゃうっ♡

んあああっ♡

あっ、あっ、はああっ♡

んぢゅっぢゅるっぢゅるるっぢゅぱっ

んふう♡

ぢゅるっぢゅぱっぢゅるっぢゅるるっ

ぢゅうっぢゅっぢゅるっぢゅぱっ♡

んんっ♡

ぢゅっぢゅるっぢゅぱっぢゅるるっ

はあッ♡

あっ、ゝあっ♡

きもちっ♡

ぎもちいいですっ♡

種付けミルク♡

濃厚ミルクで種付けしてくださいっ♡

ぢゅっぢゅるっぢゅぱっぢゅるっ

ぢゅぶるっぢゅるっぢゅるるっ

出してえ♡

ぢゅっぢゅぱっぢゅるっぢゅるっ

ぢゅぱっぢゅぱっぢゅっぢゅうっ

“あっ♡

“イっぐ♡

ぢゅっぢゅぱっぢゅるっぢゅるるっ

“いっ♡♡♡

んんんっ♡

ぢゅるっぢゅるっぢゅぱっぢゅるるっ

ぢゅるるるるるっ♡

“ん”ん”ん”ん”ん”ん”ん—ツツツ♡

んふうー…♡

んふうー…♡

んふうー…♡

ふはあ…っ♡

はあ…♡はあ…♡

あ、あ、あ♡

おちんぽ抜かないで…っ♡

だめ…ツツ♡

ひっ♡

んあああああ～…ツツ♡

あう…♡

はあ…♡

勇者様は本当に私(わたくし)のお漏らしを見るのが好きなのですね…♡

はあ…っ♡

もう、体中の水分がえっちな体液として出てしまいそうです…♡

でも…♡

まだまだ朝まで時間はあります…♡

お互いが枯れ果てるまで、溶け合いたいです…♡

勇者様との思い出…私に刻み込んでください…♡

エピローグ ～ヒロイン私室～

ん…

勇者様…？

良かった…まだ眠ってる…

…本当に、立派になられたんですね。

幼い頃は、少し泣き虫で…

けれど、正義感だけは誰よりも持ち合わせていた貴方が…

本当に勇者となって、この街に戻ってくるだなんて、思いもしませんでした。

実は、あの夜、貴方を見た瞬間は誰だか分からなかったんです。

でも、少し話をする内にすぐにわかりました。

仕草、話し方、そしてその真っ直ぐな瞳…

昔のままでしたから。

懐かしい匂いがする、初めて会った気がしないと…

気付いて欲しくて言葉にしていたんですよ？

…またいつか。

この街へ戻って来られる時には、種明かしをしてもいいでしょうか？

その時まで、私はいつまでもお待ちしておりますね。

そして、その日が来たら…

貴方に初めてを捧げた私の真意と気持ちを…お伝えさせてください♡

では…

お休みなさいませ。

勇者様。